

THE OUTLETS KITAKYUSHU



外観

イオンモール株式会社が管理・運営する九州最大級のアウトレットモールが、2022(令和4)年4月、閉園したテーマパーク「スペースワールド」の跡地にオープン。JRスペースワールド駅から徒歩3分の好立地にある。



トイレ入口・ベビールーム



大きなイラストと色分けにより、各トイレやベビールームがひと目でわかる。あわせてトイレ前にはトイレ内の設備がわかるサインを掲示。ベビールームにはおむつ替え用のベッド、調乳用設備や手洗器を設置している。



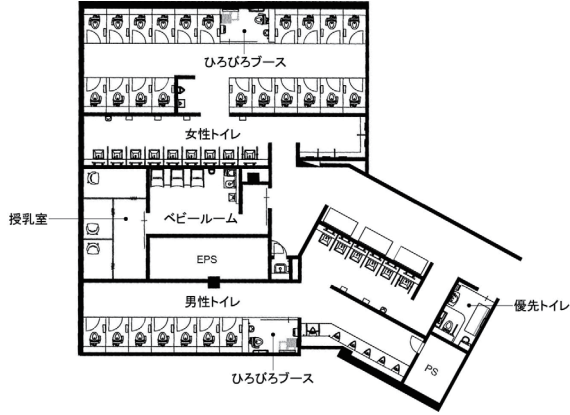
男性トイレ
洗面・小便器コーナー



洗面コーナーには、乳幼児連れに配慮しベビーチェアを設置。また小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用し、さらに手荷物や傘に配慮し、棚(ライニング)やフックを備えている。

トイレ図面

優先トイレとは別に、男女トイレそれぞれに乳幼児連れに配慮したひろびろブースを設置。器具数は、休日の来場者数を想定し設定している。



水まわりの特長

建物の特徴

「THE OUTLETS KITAKYUSHU」は、イオンモール株式会社が2022(令和4)年4月、閉園したスペースワールド跡地に「THE OUTLETS(ジ アウトレット)」業態2号店として開業した地域創生型商業施設。当施設は「Meet Amazing Emotion」をコンセプトに、「LIFE ENTERTAINMENT」、「SUSTAINABLE ACTION」、「アウトレットショッピング体験」の3つの価値を提供していく。ファッション、スポーツ、アウトドアなど世界から選りすぐったブランドショップ140店舗が集結。緑あふれる環境で、心豊かなブランドショッピング体験ができる。また、周辺の新科学館「スペース LABO」、「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY」や博物館群とあわせ、八幡東区の魅力向上、拠点性の確立を目指している。

トイレの特長

お子様から高齢者まで、幅広い年代の方が利用しやすいトイレづくりを目指した。施設内に5ヶ所あるトイレは、優先トイレとは別に、男女トイレそれぞれに乳幼児連れに配慮した「ひろびろブース」を備え、幼児用の設備や授乳室も備えられた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みのひとつとして、洗面コーナーやパウダーコーナー、ベビールームのおむつ替えコーナーなどに、飛沫防止のパーテーションが設置されている。そのほか、被災時に復興拠点としての機能を確保するため、断水時に仮設トイレ用のマンホールを外構に4ヶ所設置するなど、施設全体で、安全・安心・快適なトイレ環境実現への取り組みを行っている。

建築概要

名称	THE OUTLETS KITAKYUSHU
所在地	福岡県北九州市八幡東区東田4-1-1
施主	イオンモール株式会社
設計	株式会社大林組
施工	株式会社大林組
竣工年月	2022年4月
敷地面積	約270.000㎡
延床面積	約57.000㎡
構造・階数	鉄骨造・地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CS465／ウォシュレットP:TCF589系
棚付二連紙巻器:YH701／自動洗浄小便器:UFS900R
壁掛ハイバック洗面器:LS135系、LS125系
自動水栓一体形電気温水器:REAH03B系
クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクトオストメイトパック:UAS81R系／幼児用小便器:U310GY
ベビーシート:YKA25S／ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R／LED照明付鏡:EL80017
パブリック用手すり:T114CL10R、T114CU22R、T114HK7R



男性トイレ
大便器コーナー



大便器ブース前の通路は、ベビーカーや大荷物でもすれ違いがしやすいよう、広めのスペースを確保。乳幼児連れに配慮したひろびろブースの扉は、有効開口を広く確保し、ベビーカーでの出入りのしやすさに配慮した。



女性トイレ
洗面・パウダーコーナー



顔全体を美しく照らし、化粧直しなどがしやすいLED照明付鏡を設置した洗面とパウダーコーナー。どちらも飛沫感染防止に配慮し、個別にパーテーションを設置している。



女性トイレ
幼児用小便器コーナー



乳幼児連れに配慮した幼児用小便器コーナーを設置。トイレの出入口に近く、わかりやすい場所に配置された。また、洗面器には電気温水器がセットされており、寒い時期でもしっかりと手洗いができるように配慮している。



女性トイレ
ひろびろブース



ベビーカーごと入ることができ、ベビーシートやベビーチェア、フィッティングボード、ダストボックスを備えたひろびろブースを、男女トイレに各1ヶ所ずつ設置している。



優先トイレ



車いす使用者やオストメイト、大型ベッド使用者など、さまざまな身体状況の方に対応できる設備を完備。また、介助する際のプライバシーに配慮してカーテンを設置している。



災害用 マンホールトイレ



災害時の復興拠点としての役割を果たすため、断水時のトイレ利用を想定。機能確保の施策として、速やかに仮設トイレを設営するためのマンホールを外構に計4ヶ所設置している。